

ひらがなしょうてんがい

# ひらがな商店街

## (ひらがな商店街)

神奈川県横浜市中区石川町

### 石川町発のコミュニティカフェで 来街者と地域住民の交流促進



#### 取組の背景

#### 商店街内の資源を活かし 地域の繋がりを取り戻す

新型コロナウイルス感染症の影響により、どのように地域コミュニティを維持し来街者を増やしていくか、商店街組合としても試行錯誤を重ねていた。コロナ禍収束後のV字回復期に向け、新たなサービスや企画を実施することは、喫緊の課題であった。「平成27年度横浜市民意識調査」によれば、石川町がある横浜市中区は「周辺の地域の人同士が普段から交流しているか?」の設問に対し「思わない」が4割を超えて横浜市のなかでも最も評価が悪い。一方、地域の困っている人がいれば、「自分が可能な範囲で手助けしたい」と考えている人は73%以上を占め、地域の繋がりを深めるための機

#### 取組の内容

#### 魅力たっぷりの憩いの場が 街に賑わいを創出する

同商店街では、地域の情報発信と地元住民同士が交流できるカフェ「マーケットテラスカフェ石川町」を2017年3月にオープンした。スイーツやパン、ランチもとれるオープンカフェでは、町内会のイベントや商店街の店舗が提供するスイーツ会等を実施。また、地域のアーティストが自作の商品を販売できる小スペース「小箱ショップ」を併設し、地元住民だけでなく、初めて訪れた来街者でも気軽に入りやすい憩いの空間となっている。このほか、店内では、レンタルスペースを設けて子供向けのセミナーや各種教室を開催し、家族揃って楽しめる場の提供を実現している。コミュニティカフェ施設の前面エリアには、地域と横浜市都市整備局で協議し、地域の振興・防災の核となるコミュニティ棧橋設置の計画が現在進んでおり、各種商店街施設との将来的な連動も見込まれる。

各事業の実施面では近隣商店街とも協力体制が築けており、石川町エリアで一丸となって臨んでいる。周辺には外国人観光客が求める無線公衆Wi-Fiや、「店

会や場の提供が求められていることがわかった。

改めて同商店街が所在する石川町の強みを眺めてみると、室町時代創建の「石川町諏訪神社」や、1886年創業の銭湯「小山湯」など、由緒あるスポットが多数ある。また後背地の山手地区には、横浜を代表する文化・歴史施設が集積し、国内外を問わず観光客からの注目度が高い。一方、同商店街内にはコミュニティカフェやゲストハウスも複数あり、これを活かせば、来街者と地域住民同士が、相互に触れあい関係性を深めていく仕掛け作りにも活かしていけると考えた。このような事情から、地域連携を図るためのコミュニティカフェ「マーケットテラスカフェ石川町」を中心としたさまざまな取組をスタートさせた。

員・係員の言語力」を解決する翻訳機を整備し、国内外を問わずすべての観光客が文化体験を楽しめる工夫をしており、観光来街者からも大きな支持を得ている。

このような各種コミュニティスペースを起点とした



「マーケットテラスカフェ石川町」の店頭では、自家製の取れたて野菜も販売



自家野菜を使った料理(左)、地元アーティストのオリジナルティある商品が並ぶ「小箱ショップ」は見てのだけでも楽しい(右)

人々の交流を図る仕掛けが、住民同士の結びつきを強化し、商店街の賑わい創出に貢献している。今後さらに増えるであろう国内観光客、外国人観光客へのサービ

スも充実させており、さらなる広域来街者受け入れへ向けて地域一体となった街づくりに取り組んでいる。

## 取組の成果

効果測定に応じた事業改善  
取組前より来街者15%増

事業効果は商店街組合内に評価委員会を設置し調査。検証結果に応じて「マーケットテラスカフェ石川町」で実施する各種教室の充実を図っている。商店街の通行量調査の結果、令和元年度の来街者数は年間252

万人、1日当たり6,925人となり、取組前に比べ15%増加した。次年度以降も認知度の高まりにより、継続的な増加が見込まれる。

また、行政と連携したオリジナル商品開発、文化体験事業の充実とゲストハウスの整備も進めており、来街者の商店街における回遊性の向上が図られた。

## 実施体制

同事業は当初、ひらがな商店街の佐藤会長と3名の担当者が中心になって取りまとめ、地域ブランド開発・販売事業の実施、イベント企画運営、事業における企画・事業運営、SNS等を活用した事業に対する効果検証等を実施し、翌年度以降の事業改善の

検討までを行っている。「マーケットテラスカフェ」の店舗運営は外部委託し、石川町を中心とする街づくりに関わってきた地元の方々も、積極的に協力している。商店街内には青年部を設け、町内会とも協力体制を築いており、イベント開催は共同運営とするよう心掛けている。若い世代の意見も積極的に取り入れ、次世代のリーダー育成にも力を入れている。

## キーパーソンからのコメント

## 来街者と地域との繋がりを大切に街の活性化

隣接の商店街「ひらがな商店街ウエストアベニュー」では若手中心の活気ある活動をされていると知り、自分達の街も「横浜の中心街の一つであった当時の活気を取り戻したい」という思いがありました。その一心で、まず数人の若手経営者達と小さなイベント「裏フェス」を始めたことが、従来は交流がなかった店舗同士や隣接商店街と共同歩調をとるきっかけになりました

た。自分達の街を活気溢れる街へと育てていくために議論を重ね、コミュニティーカフェ、ゲストハウス事業など、次々に取り組みました。これが新たな賑わいや若手経営者を根づかせる呼び水となり、街の活性化にも繋がったと思います。今後も若い世代の意見も取り入れつつ地域との繋がりを大事にしたまちづくりに励んで参ります。



ひらがな商店街 会長 佐藤 晃一(左)、  
ひらがな商店街ウエストアベニュー 会長 飯田 峰子(右)

## 商店街の概要

石川町は、かつて洲干湊と呼ばれた入江の南岸に位置し、周辺の埋め立てが始まったのは江戸時代に遡る。横浜港開港を経てさらに陸地化は進み、現在の地勢となったのは1874年頃。1964年にJR根岸線が開通し、石川町駅は元町・山手地区・中華街地区の玄関口となった。年間乗降客数は1,200万人、石川町・元町エリアだけでも店舗数は700を超えており、多くの来街者で賑わっている。駅直結のひらがな商店街には、明治創業の老舗和菓子店からお洒落なダイニングバーまで多様な店舗が軒を連ねるが、アットホームで個性豊かな店舗が多く住民からも愛されている。

所在地 神奈川県横浜市中区石川町  
人口 約15万人(横浜市中区)  
電話 045-264-8370  
FAX 045-264-8371

URL <http://www.hiraganashoutengai.net/>  
会員数 77名  
店舗数 80店舗(小売業20店、飲食業30店、サービス業23店、  
不動産業2店、医療サービス業3店、その他2店)

商店街の類型 複合型  
主な客層 サラリーマン、学生、若者  
/30歳代、40歳代